第５０回全日本実業団ハーフマラソン大会

大会にかかわるすべての皆さまへ

2022 年 1 月 28 日

一般社団法人日本実業団陸上競技連合

新型コロナウイルス感染症への対応策

【骨子】

開催地の山口県は「まん延防止等重点措置」が 2 月 20 日（日）まで適用されています。大会が「まん延防止等重点措置」適用下で開催されることを十分理解したうえで、大会に向けた調整・準備をし、大会当日に臨んでください。

開催地の理解と支援があって大会開催が実現します。山口県からの各種メッセージに目を通し、決められた約束ごとの厳守をお願いします。

（山口県からの情報は以下の別紙を参照）

「山口県知事メッセージ」

「山口県まん延防止等重点措置の期間延長に伴う感染拡大防止集中対策」

「新型コロナウイルス感染症に係る対処方針について」（山口県新型コロナウイルス感染症対策本部危機管理チーム）

■競技運営上のコロナ対策については、

山口陸協の別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」の指示に従うこと。

■出場競技者、監督・コーチ・スタッフ等のチーム関係者は、**「テレサー体温記録活用アプリー」**で体調管理にあたってください。

「テレサ」の利用方法は、

別紙「テレサによる体調管理について」をご覧ください。

大会役員など大会関係者もアプリ使用は可能です。

なんらかの事情で「テレサ」に対応できない方は、紙の体調管理チェックシートに記入・提出願います。

■大会２週間前の１月 30 日(日)から記入。大会終了後２週間の２月 27 日(日)まで健康観察を継続すること。

■出場競技者、監督・コーチ・スタッフ等のチーム関係者、テレサ利用大会役員以外の大会役員、報道、企業広報、視察希望者など、その他大会関係者は、

大会１週間前の２月６日（日）からの体調管理チェックシートを記入・提出。

大会終了後２週間の健康観察を継続。

【はじめに】

　このガイドラインにおける「大会関係者」とは、以下に挙げる、大会にかかわ

るすべての方たちを対象とします。

全国的に感染の「第 6 波」が顕著となり、2022 年 1 月 27 日現在、東京都、大阪府など 34 都道府県に「まん延防止等重点措置」が適用される事態となっています。日々の健康管理に細心の注意を払い、万全な体調で大会に参加いただきたく、改めて緊張感を持って大会に備えてください。感染症予防と拡大防止、安全な大会運営への、ご協力、よろしくお願いします。

大会関係者とは――

競技者、監督・コーチ・スタッフなどチーム関係者

出場チーム企業関係者

競技役員・自主整理員・補助員、大会役員・スタッフ

競技場運営者

来賓

協賛社・サプライヤー各社

中継放送局（TBS テレビ）スタッフ

取材メディア

スポーツメーカー各社

視察目的で来場する他の大会の運営者等

大会当日や大会前の練習に、関連施設等に来場する、すべての方々

本ガイドライン策定にあたっては、下記の各ガイドライン、ガイダンスなどを参照しました。

スポーツ庁「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html
日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html
日本陸上競技連盟「ロードレース開催についてのガイダンス」第３版改訂（22 年１月６日付）
06_165422.pdf (jaaf.or.jp)

開催地・山口県の新型コロナウイルス感染症対策サイト
https://yamaguchi.stopcovid19.jp/
山口県の新型コロナウイルス感染症関連情報サイト
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10000/korona2020/202004240002.html

大会にかかわる者は、感染拡大防止のため、厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」を必ず導入すること

厚労省「COCOA」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

＊開催地の山口陸上競技協会の役員・審判員の皆さまは、陸協が定めたマニュアルに則ってください。

＊大会前及び大会を終えて帰還した後に発熱等があった場合は、各人が居住、あるいは練習・活動拠点とする地域を所管する保健所にご相談ください。

【ガイドライン本文】

■　1　■大会開催の可否判断

＊新型コロナウイルスの今後の感染状況に応じ、開催地の山口県による「イベント自粛要請」など、行政当局からの指導に対応し、開催が困難と判断された場合は、大会を中止とします。その場合は当連合ホームページにてお知らせいたします。

■　2　■大会への参加

＊各所属先企業、チームの判断を順守してください。所属先が都道府県をまたいでの遠征禁止や全国規模の大規模大会への参加を禁止した場合は、その旨を記載した欠場届を提出してください。

＊各所属先企業、あるいは居住地の都道府県から、強制力の伴わない、都道府県をまたいでの外出自粛要請が出た場合は、各自の判断で、責任をもって参加の可否を判断してください。

＊各大会の開幕３週間前以降に競技者・監督・現場指導コーチのいずれかに新型コロナウイルス感染が確認された場合、当該の感染者は大会参加を辞退するか、もしくは主催者が大会参加を取り消します。

大会にエントリーしている同一チーム所属の競技者・監督・現場指導コーチ等が保健所から濃厚接触者と認定された場合については、当該濃厚接触者が、厚生労働省の方針に則り PCR 検査を受け陰性となり、かつその後 14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合は各所属先企業の判断を尊重することとし、それに該当しない場合は、大会参加を辞退するか、もしくは主催者が大会参加を取り消します。

保健所が濃厚接触者と認定しなかった競技者・監督・コーチ等の大会参加については、各所属先企業の判断を尊重します。

■　３　■来場者の総数を規制します

＊各施設への出入口を限定し、密集・密接の回避に努めます。「３７・5 度以上」の発熱がある方は、入場をお断りします。あらかじめご了承ください。

＊競技関連施設等に入場できるのは、主催者が ID カード、またはリストバンド、

またはビブスを付与した方たちに限られます。ID カードの種別によって入場可能エリアが分かれますので、ご注意ください。

＊ＩＤカードには以下の種別があります。いずれも、体調管理チェックシート提出と引き換えに、ＩＤカードを交付します。

「大会役員」日本実業団陸上競技連合、6 地域の各実業団陸上競技連盟の役員・事務局員で、大会運営にあたるスタッフ、山口県など大会運営にかかわる開催地の関係者が着用。

体調管理チェックシート（以下、チェックシートと略記）を大会当日の 2 月 13 日に競技場正面玄関前の実業団受付に提出。

「大会関係者」競技運営を支援するスタッフ、他の駅伝・マラソン競技大会運営者、スポーツ用品メーカースタッフ等のチーム・選手サポート関係者など。

チェックシートを大会当日の 2 月 13 日に競技場正面玄関前の実業団受付に提出。

「来賓」　付添者も含めた人数分のチェックシートを大会当日の 2 月 13 日に競技場正面玄関前の実業団受付に提出。

「報道」　スポーツ報道を目的とし、事前申請で許可された者に限る。企業広報は対象外。

2 月 13 日 8 時からの報道受付の際、取材許可証とシートを提出し、ＩＤカード、ビブスの交付を受ける。

「競技者」　　後述の「項目■４■」に記載

（「監督・コーチ」は今大会、競技場のグラウンドレベルには入れないため ID カードは交付しない。ただしスタンドに入場するためのリストバンドを付与する。指導者研修会受講者にはビブスを貸与する=要返却のこと）

■　４　■出場競技者へのＩＤカード交付、監督・コーチへのリストバンド付与

＊出場競技者には「選手」ＩＤカードを交付します。

＊大会前日の２月 12 日（土）12 時～15 時、ホテルニュータナカ（山口市湯田温泉２－６－24）での競技者受付時、アプリ「テレサ」に対応していないチームは体調管理チェックシート（１月 30 日～２月 12 日の分）を人数分、チーム一括で提出してください。前日受付をすませたチーム、選手は、大会当日の２月 13 日（日）のチェックシートは、８時～９時の間に、競技場正面玄関前の実業団受付に、チーム一括で提出してください。

＊２月 13 日の大会当日に初めて競技者受付を行う「テレサ」に対応していないチームは、１月 30 日～２月 13 日分のチェックシートを、実業団受付に８時～９時の間に提出してください。

＊大会当日、体調管理チェックシートの最終確認で問題がないと確認された競技者に「検温確認済みシール」をお渡しします。ＩＤカード表面の文字が隠れない個所に貼付してください。

＊「監督・コーチ」は大会当日の２月 13 日８時～９時、競技場正面玄関前の TIC

に体調管理チェックシートを提出、または、「テレサ」のチェックで、体温等に問題がなければ、リストバンドを受け取ってください。監督・コーチ等のチーム関係者は競技場のグラウンドレベルには入れません。正面東の大階段からスタンドに上がってください。指導者研修会「午前の部」受講者には、ビブスを交付します。「午前の部」終了後すみやかに実業団事務局に返却してください。万一持ち帰った場合は、日本実業団陸上競技連合事務局あて返却願います。

■□■□■体調管理チェックシートの記入と提出■□■□■

※大会関係者すべてが対象となります

＊「テレサ」利用者は別紙「テレサによる体調管理について」をご覧ください。

＊紙のチェックシート（Ｅｘｃｅｌファイル）は大会ＨＰに掲載。

※大会２週間前からチェックした結果をテレサ、または、シートに記入。今大会の対象期間は１月 30 日（日）～２月 13 日（日）。

（１）出場競技者

①紙のシート記入者は、大会前日の２月 12 日（土）12 時～15 時、競技者受付（ホテルニュータナカ）の際に控えを提出して、確認を受けてください。原本または元データは各チームで保管してください。

②大会当日２月 13 日（日）のチェックシートは、前日受付をすませてあるチーム、選手は、同一シート（２枚以上になる場合は必要分）にチーム全員分を記入し、２月 13 日８時～９時の間に、競技場正面玄関前の実業団受付に、チーム分を一括で提出してください。原本または元データは、各チームで管理してください。

当日初めて受付するチーム、選手で紙シート対応者は、２月 13 日８時～９時の間に、２週間分＋当日分を実業団受付に一括提出してください。

（２）監督・コーチ

＊大会当日の２月 13 日（日）８時～９時、競技場正面玄関前の TIC に、「テレサ」によるチェック、または紙のシートを提出し、体温等に問題がなければ、リストバンドを受け取ってください。

（３）そのほかのカテゴリーの方たち

①競技役員＝山口陸上競技協会でとりまとめます。

②道路立哨員＝前日説明会に出席する方たちは、体調管理チェックシートを提出して受付し、リストバンドを受け取ってください。当日は、各自、体調管理チェックシートで体調を管理し、立哨位置についてください。

③取材メディア＝報道受付

④来賓・その他来場者＝実業団受付（２/13 は競技場正面玄関前）

※ID カードの使い回しは厳禁※

＊大会前の４日間のいずれか、また、大会当日に、体温「３７・５度」以上の発熱、倦怠感や味覚・嗅覚障害などの新型コロナウイルス感染症特有の症状がみられた場合は、大会への参加をお断りします。はっきりした症状はないものの疑わしいとみられる場合も、無症状感染の疑いを排除しきれないため参加を控えてください。

※大会関係者から感染者が確認された場合、担当保健所や行政機関からの求めに応じ、個人情報に最大限の配慮をしたうえで、当該機関に情報を開示することがあります。

※上記の事例以外では、用紙で提出いただいた体調管理チェックシートは、主催者の日本実業団陸上競技連合が１か月間管理し、１か月経過後、シュレッダーで裁断処理します。

■　大会後　■

＊大会終了後２週間（2/14㈪～2/27㈰）、「テレサ」または体調管理チェックシートに記入し、健康観察を継続してください。データは各自で管理し、異常がなかった場合は、提出の必要はありません。

※※万一、感染が確認された場合は、日本実業団陸上競技連合に報告してください。当連合では個人情報の取り扱いに最大限配慮し、担当保健所、行政機関の指導のもと、濃厚接触者と認定される方たちがいた場合、その旨を該当者に伝え、

感染拡大の抑止に努めます。

■　5　■大会を迎える前に

＊日々の練習、日常生活における感染予防に努めてください。

集団行動が伴い、また接触プレーの多い特性を持つ競技のスポーツ活動では、依然としてプロ、社会人、大学、高校などの各競技・団体でクラスター（集団感染）発生の事例が全国各地から報告されています。陸上競技は比較的、濃厚接触の機会が少ない競技特性がありますが、オミクロン株の出現後、感染の報告も上がってくる機会が増えています。油断や過信は禁物です。ロードレースシーズンも後半に入り、連戦の疲労が蓄積されるようになるころです。疲労は免疫力を低下させるため、十分な休息や睡眠、栄養バランスの取れた食事等で体調管理に努めてください。過度のストレスも免疫力の低下を招きますので、ストレス解消に各人の工夫をお願いします。

＊「３密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行、社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保、大人数での会食や、生活環境・社会活動域を異にする他コミュニティーとの会食を控えるなど、感染予防の徹底に引き続き努めてください。屋内では換気には十分気をつけてください。

＊事前のコース下見や試走を行う際は、コース沿道の皆さまに不安感や不信感

をいだかれるような行為は厳に慎んでください。車で移動する際は、交通法規を遵守し、駐停車のマナーを守ってください。下見・試走の時点でマナー違反行為があると、大会の開催そのものの是非が地域の方々から問われます。くれぐれもご注意ください。「まん延防止等重点措置」が適用される状況下で、開催地の方々は、山口県外から訪れるスポーツ選手たちを厳しいまなざしで見ているということを忘れないようお願いします。

■　6　■大会会場への往路・復路の移動中

＊公共交通機関を利用する場合は、「３密の回避」やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行など、感染予防に努めてください。また、同行者との大声での談笑を慎むなど、周囲の人たちへの配慮をお願いいたします。

＊自家用車やマイクロバスなど、車で来場する場合も、車内の換気や、適切な距離の確保など、感染リスクの低減に努めてください。

＊スポーツ大会参加のためグループで移動するアスリートたちの姿は、普段以上に、たいへん人目につきます。移動中であっても、周囲から「見られていること」を十分に意識して行動されるよう、お願いします。

■　7　■大会前の練習の取り扱い

＊維新みらいふスタジアム（維新百年記念公園陸上競技場）を事前練習で利用

する場合は以下のことにご留意願います。

練習で利用できるのは、２月 11 日（金）12 時～18 時

12 日（土）10 時～18 時

＊競技場の練習利用に際しては、競技場正面玄関前のＴＩＣで受付、リストバンドを受け取って装着して入場してください。受付の際、テレサ、または体調管理チェックシートを確認します。紙シートの場合、控えを用意せず、練習に先立って競技者受付で原本を提出してしまうと、練習受付の際に必要なシートがなくなってしまいます。また、逆に、練習後に競技者受付する場合、練習受付で原本を提出してしまうと、競技者受付の際にシートがなくなります。ご注意願います。

■　８　■関連施設等を使用する場合の一般的注意事項

＊「３密」とならないよう、社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保しながら、ご利用ください。競技者は、競技中、ウオーミングアップ、クールダウン中以外は、マスクを着用してください。

＊各人が長時間占めていた施設備え付けシートや、備品類などは、使用後、各人で可能な限り消毒に努めてください。

＊周囲に人が集まる場所では、マスク着用であっても大声を上げるのはおやめください。

＊ごみは各人で持ち帰ってください。特に、不要となったマスクや手指消毒し

た際のティッシュペーパー、布類などのごみは、密封したごみ袋などで持ち帰るよう、衛生管理に工夫をお願いします。

■　９　■スタート時の競技者の招集

＊招集時、入退場時とも「３密」を避けるため、現地では競技役員の指示に従ってください。

■　１０　■更衣室

＊「３密」を避けるため、適切な使用方法への協力をお願いします。短時間での利用、付き添い者も極力入室しないか短時間の入室ですませるなど、工夫してください。

■　１１　■チーム関係者による沿道での声がけ

＊大会開催の大前提に「沿道での応援の自粛」があります。レースに出場しない控え選手や監督・コーチ・スタッフなどのチーム関係者が沿道から競技者にたとえ競技上の指示であっても、声をかける場合は、周囲に人が密集していないことを確認するなど、他者との適切な距離を確保するとともに、同一チーム内であっても各人の社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保に努めてください。乾燥・低温の冬場は、飛沫が微粒子となって、より遠くまで漂って起きる「飛沫感染」が起きやすいと指摘されています。それだけに、周囲に細心の

配慮をしながら、飛沫を防ぐ工夫には万全を期してください。

■　１２　■表　　彰

＊「３密」防止の観点から、男女個人の優勝者と男女団体の優勝チームに表彰式出席対象者を絞り込み、競技終了後、すみやかに実施します。大会本部の指示に従ってください。プレゼンター側はマスクを着用します。テレビ・写真撮影への対応の際は、競技者・監督はマスクの着用は不要ですが、セレモニー終了後はすみやかにマスクを着用してください。贈呈側も出席者を最小人数に絞り込み、表彰状の読み上げやあいさつ等を可能な限り省略して簡素化に努めます。

＊表彰式会場は、「３密」防止の観点から、入場者をＩＤカードコントロールで制限します。写真・動画撮影などの取材は、所定の位置からとなります。大会スタッフの指示に従ってください。

■　１３　■記録表の取り扱い

＊「３密」を回避するため、山口陸上競技協会、並びに当連合 HP の速報コーナーで発表しますので、こちらをご利用ください。

■　１４　■報道機関によるスポーツ報道目的取材

＊「３密」防止のため、取材者の総数、及び各社の来場者に上限を設けるとともに、すべて事前申請とします。ただし、ライツホルダーである毎日新聞社、TBSテレビの人数は別枠として取り扱います。

＊報道プレス室の利用時、撮影時、取材時は「３密」を避けるため、競技役員の指示に従ってください。また、各人で話し合って適切な距離を置くなど「３密」回避への工夫をお願いします。

＊会場内ではマスクを着用してください。こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。報道プレス室を退出する際、各人（各社）で可能な限り、使用した場所の消毒に努めてください。

＊競技終了後の取材は、選手・監督・コーチなど取材対象者との間に適切な距離を保ち、マスク着用のうえ、短時間の簡潔な取材を心がけてください。

■　１５　■企業広報（１社２名以内）への対応

＊競技場内グラウンドレベルのスタート・フィニッシュ地点は、「３密」防止の観点から、メディアのみに取材を許可いたします。企業広報の皆さんは、各社の腕章と受付時交付の撮影用ビブスを着用のうえ、スタンド、もしくは沿道からの撮影となります。ビブスは必ず実業団事務局に返却してください。万一持ち帰った場合は、日本実業団陸上競技連合事務局に返却してください。

＊沿道では、地域の方々に不安感、不信感をいだかせるような行為は厳に慎んでください。地域の方々から苦情が寄せられた場合、事情を確認のうえ、マナーに反する行為が認められた場合は、他の大会も含め以後の当連合主催大会での企業広報を受け付けない場合があります。

＊車で移動する場合、駐停車も含め交通法規を厳守してください。あらかじめタクシーをチャーターする場合は、運転手の方の検温など体調管理に各企業が責任をもって対応してください。タクシー利用者が大会終了後、発熱などの症状があった場合は、誠意をもってタクシー会社への説明をお願いいたします。

■　１６　■前夜祭を中止

＊例年、大会前日に実施していた「前夜祭」（懇親会）を中止します。

なお、指導者研修会（講演会など）は今回、「３密」防止の観点から、オンライン受講を軸とします。ただ、公認コーチ資格更新希望者を対象とした「午前の部」では、ソーシャルディスタンスに配慮し、競技場スタンドなど屋外での実施とします。

■　１７　■沿道での応援・観戦について自粛のお願い

＊出場企業による沿道での応援は、今回、自粛をお願いしております。２月 12 日（土）の競技者受付の際、「沿道での応援自粛協力への同意書」を提出し

ていただきます。「同意書」の提出がない場合は、出場を受け付けません。また、「同意書」の提出がありながら、地域の方々から企業応援に関する苦情が寄せられた場合は、事実関係を確認のうえ、違反行為が認められた場合は、次回大会の出場を認めないなどのペナルティーを科すこともあります。ご協力願います。元日のニューイヤー駅伝では、一部チームの有志応援者による違反行為（横断幕掲出）がテレビで全国中継されました。「まん延防止等重点措置」適用下の大会であることを十分に理解した行動をお願いします。

＊一般のマラソンファン、沿道の地域の方々には、沿道での観戦を控えていただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。買い物や所用のため外出される際、競技進行中のコース沿道では同じ箇所に１５分以上立ち止まることは避けてください。沿道が密集、密接とならないよう、各人の間隔を１ｍ以上空けるなどソーシャルディスタンスの確保に努めてください。たまたま通行中に選手が通過するのに出合った場合でも、声を出しての応援は控えてください。周囲に人が集まっている状況では、マスク着用をお願いいたします。

＊公道をお借りしてのロードレースは、地域の方々に支えていただいて、初めて成り立ちます。ご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

■　１８　■競技場スタンドでの一般応援者について

＊一般応援者は、バックスタンド裏階段下で、検温チェックを受け、応援申込書（連絡先表）に記載して、入場してください。応援は、バックスタンド及びサイドスタンドからのみとなります。飛沫防止のため、声を出しての応援は禁止です。

■　１９　■新型コロナウイルス感染症対策室の設置

＊日本実業団陸上競技連合は「新型コロナウイルス感染症対策室」が日本陸連「ロードレース再開についてのガイダンス」に沿って対応します。